

学校名： ●●●●●立 ●●●中学校 授業者： ●● ●●

教材作成者： 原田 優次

授業日時	平成●●年●●月●●日●時間目	教科・科目	道徳
学年・年次	3学年	児童生徒数	●●人
実施内容	C (10) [遵法精神, 公德心] 「二通の手紙」	本時/この内容を扱う全時数	1 / 1
教科書及び教科書会社	私たちの道徳 中学校 (文部科学省)		

授業のねらい (本時の授業を通じて生徒に何を身につけて欲しいか、この後どんな学習につなげるために行うか)

「法やきまりの意義」を多面的・多角的に考え、議論する活動 (協調学習) を通して、自他の権利を守り、規律ある安定した社会を実現するという「法やきまりの意義」に気づき、「法を守る義務」を理解して、それらを進んで守ろうとする実践意欲を育てる。

メインの課題 (授業の柱となる、シグソー活動で取り組む課題)

「二通の手紙」を読んで、考えてみましょう。元さんは、幼い二人の子を、動物園に入れるかどうかで悩みました。泣きだしそうな声で、「弟の誕生日だから…だから見せてやりたかったのに…」という、弟思いの姉の優しさ。しかし、入園終了時刻を過ぎていましたし、保護者も一緒ではなかったのです。

もし、あなたが、元さんと同じ立場だったら、どうしますか。理由も考えてください。

- ア 入園させる
- イ 入園させない

児童生徒の既有知識・学習の予想 (対象とする児童生徒が、授業前の段階で上記の課題に対してどの程度の答えを出すことができそうか。また、どの点で困難がありそうか。)

- ①これまで多く問われてきた「元さんが、晴れ晴れとした顔で、職場を去って行ったのはなぜか。」という、心情理解のための発問では、「最後に子どもたちのために良いことができたから。」と答える生徒が多い。母親からの感謝の手紙によって、職業人生を後悔のなく終えることができたと考える。すなわち、「遵法精神」より、「思いやり、感謝」「寛容」「よりよく生きる喜び」などの価値に向かうことが多かった。
- ②「元さんと同じ立場だったらどうするか。」という投影的発問では、「子どもと一緒にについていってやれば良かったのに。」といった、その場しのぎの解決策を考える生徒が少なからずいる。仕事の意義や責任について理解できず、誰に対しても公平に職責を果たす態度などには考えが及ばなかった。
- ③「『保護者同伴でなければ入園させてはいけない』という規則は大切だけど、『入園時刻を過ぎると入園させてはいけない』は、あまり大切な規則ではないのでは?」と考える生徒がいる。「守るべき大切なきまり」と「大切ではないきまり」といったように、簡単に軽重を付けて判断してしまう。そして、その短絡的な思考に疑問を感じる様子は、多くの場合、見られなかった。
- ④この物語は、先輩入園係の佐々木さんが若い山田君に、元さんの話を通して諭すといった展開をとっている。しかし、「佐々木さんが訴えたかったことは何なのか」といった視点で、この物語を考えさせることはあまりされてこなかった。

期待する回答の要素（本時の最後に児童生徒が上記の課題に答えるときに、話せるようになってほしいストーリー、答えに含まれてほしい要素。本時の学習内容の理解を評価するための規準）

①【法やきまりの意義】「法やきまり」は自他の生命、安全、財産などの「幸せな生活や権利」を守るためにある。

（善かれと思って判断したことでも、よく考えると、生命や安全を危険にさらすこともある。他人の権利を侵害する場合もある。その時々の場合に関係する「法やきまり」を理解して、自分の判断に役立てよう。）

②【法を守る義務】自他の権利が尊重された、秩序と規律のある社会を実現するためには、「法やきまり」を守ろうとする努力が大切だ。

（個人の判断で、きまりを守ったり守らなかったりすることが許されると、法やきまりを軽んじる人が増え、犯罪などによって権利を侵害される人も出てくる。規律ある安定した社会を実現するためには「法やきまり」を進んで守ろう。）

各エキスパート＜対象の児童生徒が授業の最後に期待する回答の要素を満たした回答を出すために、各エキスパートで抑えたいポイント、そのために扱う内容・活動を書いてください＞

A：【入園係の仕事】

①「佐々木さんが、『元さんと二通の手紙』の話で、山田さんに伝えなかったことは何だったのか。」

②「もし、入園係が幼い二人の子と一緒に園内を見学したとすると、今後、入園係は幼い子に対して、どのような対応をしなくてはいけなくなるのか。この対応の問題点は何なのか。」

③主発問について考え、議論する。

B：【母親からの手紙】

①「もし、幼い二人の子どもたちが動物園で事故にあっていたら、保護者がいないにもかかわらず入園させた元さんに、母親はどんな気持ちになり、どうするか。」

②「動物園の『きまり』は、『子どもたちの命や安全を守るため』に、絶対に守らないといけない規則なのか。その理由は。」

③主発問について考え、議論する。

C：【二つの規則】

①「『入園時刻を過ぎると入園させてはいけない』『保護者同伴でなければ入園させてはいけない』という2つの規則は何のためにあるのか。」

②「自分の判断で『法やきまり』を守ったり、やぶったりする人がいると、どんなことが起きるのか。」

③主発問について考え、議論する。

シグソーでわかったことを踏まえて次に取り組む課題・学習内容

各自で、再度「もし、元さんと同じ立場だったらどうするか。」を考え、理由も含めてワークシートに記入する。

最後に、本時に指導者が考えてほしかった道徳的価値を読んで感想を書く。一つの考え方として、教師の思いや願いを受け止めさせる。それに対する批判的な見方も許容し、自由に感想を書かせる。これまでの私の道徳科の授業の反省を踏まえて、価値の押しつけや意味不明な授業と捉えられない終末にする。

生徒感想文を「学級通信」として活用したり、その後の道徳科で活用できるよう、教材化を進める。

本時の学習と前後のつながり

時間	取り扱う内容・学習活動	到達して欲しい目安
これまで	○1, 2年時の道徳でも「遵法精神, 公德心」について考え, 議論している。	○遵法精神を支える公德心について考え, 社会生活の中で守るべきマナーやルールを大切にしたいという心情を育てている。 ○「ルールだから守る」「罰せられるから守る」といった他律的な捉えから, 「尊重したいから守る」といった自律的な捉えが次第にできるようになる。
前時	○協調学習の道徳を行うことを予告しておく。	○積極的に意見交換しようとする意欲を育てる。
本時	○『遵法精神, 公德心』について, 知識構成型ジグソー法を活用して考察する。	○投影的な発問について, 仲間と協力して考え, 議論し, 自分たちなりの解を導き出して, 「法やきまり」大切にしようとする実践意欲を育てる。
次時	○私たちの道徳 123 ページ「杉原千畝の手記より」を学習する。	○「よりよく生きる喜び」と「生命の尊さ」「自律と責任」について考え, 規則との関連について考察する。
この後	○学級通信で, 授業の様子や生徒の感想を紹介し, 道徳教育に対する保護者の理解を深める。	○生徒が, 道徳の学習を話題にして, 保護者の思いを聞く機会を持ち, 自己の考えを更に深める。

上記の一連の学習で目指すゴール

「遵法精神, 公德心」と「生命の尊さ」「自律と責任」「よりよく生きる喜び」について考え, 「法やきまり」に関連する様々な問題を多面的・多角的に考え, 判断するとともに, 主体的に解決していこうとする態度を育てる。

本時の学習活動のデザイン

時間	学習活動 (◎主発問 ○発問 ・予想される回答)	支援等
0	<p>導入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「しっかり考え、話し合っていきましょう。」</li> <li>○朗読「二通の手紙」(録音音声) 私たちの道徳 140～144 ページ</li> <li>◎発問「もし、あなたが元さんと同じ立場だったらどうしますか。理由も考えましょう。」</li> <li>ア 入園させる</li> <li>イ 入園させない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○活動目標にとどめる。</li> <li>○1, 2ページ配布。</li> <li>○3ページ配布。</li> <li>○ワークシートに記入した後、挙手して人数を確認する。</li> <li>○3ページ回収。</li> </ul>
10	<p>エキスパート活動</p> <p><b>A：【入園係の仕事】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「佐々木さんが、『元さんと二通の手紙』の話で、山田さんに伝えたかったことは何だったのか。」</li> <li>・規則を守らないとお前も首になるぞ。</li> <li>・お客さんの安全を守るための規則だぞ。</li> <li>・わずか数分といえども、きまりはきまりだ。勝手に入園係がやぶってはいけない。</li> <li>・やめていたった元さんの体験を無駄にしたいくない。若い入園係も園の規則について考え、仕事に生かしてほしい。</li> <li>○「もし、入園係が幼い子と一緒に園内を見学したとすると、今後、入園係は幼い子に対して、どのような対応をしなければいけないのか。この対応の問題点は何なのか。」</li> <li>・保護者がいない場合は入園係がついて回る。</li> <li>・入園係は忙しくなる。本来の仕事ができない。</li> <li>・規則を曲げて、誰かを特別扱いすると、対応を疑われる。信用をなくす。</li> </ul> <p><b>B：【母親からの手紙】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「もし、幼い二人の子どもたちが動物園で事故にあっていたら、保護者がいないにもかかわらず入園させた元さんに、母親はどんな気持ちになり、どうするか。」</li> <li>・入園係の優しさに免じて、文句は言わない。</li> <li>・腹を立てて、モンスターペアレントみたいに、動物園に抗議してくる。</li> <li>・頭に来て、動物園の対応を裁判所に訴える。</li> <li>○「動物園の『きまり』は、『子どもたちの命や安全を守るため』に、絶対に守らないといけない規則なのか。その理由は。」</li> <li>・安全のため、絶対に守らないといけない。</li> <li>・安全のため、まあ守っておいた方がよい。</li> <li>・時と場合によって判断したほうがよい。</li> </ul> <p><b>C：【二つの規則】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「『入園時刻を過ぎると入園させてはいけない』『保護者同伴でなければ入園させてはい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○4～6ページ配布。</li> <li>○各資料に基づいて「元さんと同じ立場だったらどうするか」を考え、キーワード等を使って説明できるようにする。</li> <li>○佐々木さんが先輩として、後輩に伝えたかったことを考え、「きまりの意義」の理解に役立てる。</li> <li>○仕事において、誰かだけを特別扱いしてしまうと、個人や会社の信用を失うことになる。誰に対しても、公平公正な態度で職責を果たすことが重要であることを考える。</li> <li>○母親からの手紙は、結果的に事故がなかったから感謝されただけである。結果によっては、母親の態度が大きく変わっていた可能性があることを考える</li> <li>○動物園の規則が何のためにあるのかを考え、入園者の生命や安全に配慮して決められていることを理解する。</li> <li>○個々の規則の意義を考える。次の質問と含めて、それらの規則を個</li> </ul>

	<p>けない』という2つの規則は何のためにあるのか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・閉門時刻に遅れる人が増えないようにする。</li> <li>・見学のための最低限の所要時間を意識してもらおう。焦って見学しては事故の原因にもなる。</li> <li>・園内での子どもの安全を確保する。</li> <li>・いざという時のために、保護者に近くにいてもらう。</li> </ul> <p>○「自分の判断で『法やきまり』を守ったり、やぶったりする人がいると、どんなことが起きるのか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勝手にきまりを破る人が増える。</li> <li>・他の人が迷惑をこうむる。</li> <li>・生命や安全、財産が脅かされる。</li> <li>・犯罪が増え、世の中の治安が悪くなる。</li> </ul> <p>22 シグソー活動について</p> <p>◎発問「もし、あなたが元さんと同じ立場だったらどうしますか。」を考え、議論する。</p> <p>○入園させる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼い子どもたちがかわいそう。</li> <li>・優しい姉の気持ちを大切にしたい。</li> <li>・職業人生をかけてでも、入れたほうが後悔しない。入園を拒否すればきっと後悔する。</li> </ul> <p>○入園させない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの安全のためには仕方ない。</li> <li>・この子たちだけを特別扱いして、規則を破ることはできない。</li> <li>・入園係という仕事の責任を果たすべきだ。</li> </ul> <p>36 クロストークについて</p> <p>◎発問「もし、あなたが元さんと同じ立場だったらどうしますか。」について、どのような意見交流があったのかを発表する。</p> <p>45 今日の振り返り</p> <p>◎発問「もし、あなたが元さんと同じ立場だったらどうしますか。」について、各自の意見を再度記入させる。</p> <p>○本時に指導者が考えてほしかった道徳的価値を記入しておく。一つの考え方や生き方として教師の思いや願いを受け止めさせる。それに対する批判的な見方も許容し、自由に感想を書かせる。</p> <p>○ビデオ視聴「憲法に男女平等を書いた女性」</p>	<p>人が勝手に軽重をつけて判断すべきものではないことを理解する。</p> <p>○法やきまりが、自他の生命や安全などの権利を守り、規律ある安定した社会を作り出していることを理解する。</p> <p>○7ページ配布。</p> <p>○班の意見をホワイトボードに記入する。</p> <p>○他の班の意見に対する疑問があれば、積極的に質問し議論する。課題に対する理解を深める。</p> <p>○8ページ配布。</p> <p>○協調学習の評価も記入。</p> <p>○8ページ回収。</p> <p>○9ページ配布。</p> <p>○「価値の押しつけ」や、「意味不明な授業」と捉えられない終末にする。</p> <p>○可能なら視聴時間を確保する。</p> <p>○9ページ回収。</p>
--	--	---

グループの人数や組み方	
3～4人×●グループ	基本的には生活班を活用するが、極力3人班とする。